

令和7年度

「大学生と集落の協働による地域活性化事業」
活動報告会

日時：令和8年2月11日(水) 13:00～17:00

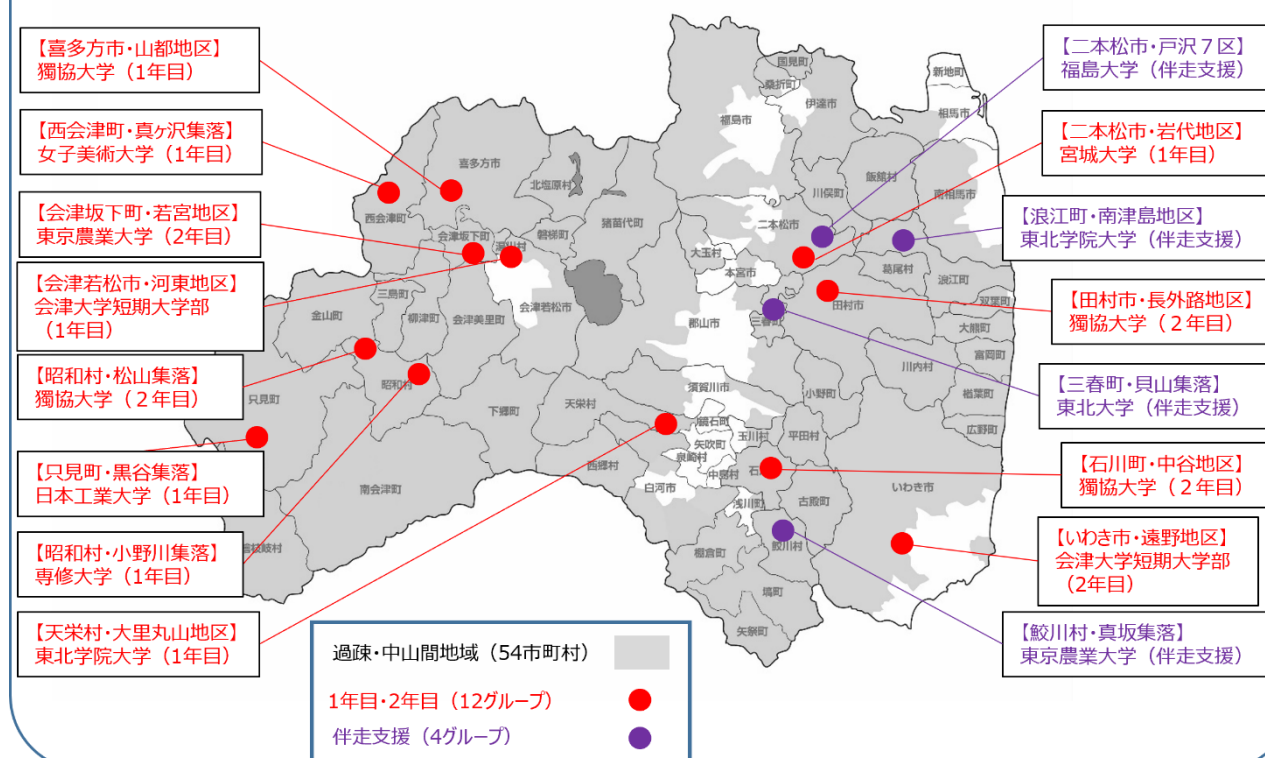
場所：コラッセふくしま 4階 多目的ホール

令和7年度福島特定原子力施設地域振興交付金事業

令和7年度 「大学生と集落の協働による地域活性化事業」 活動報告会 プログラム

11:45	受付開始
12:15	事前説明（大学生）
12:55	開会前注意事項
13:00	開会
13:01	主催者あいさつ
13:05	報告会の進め方説明
13:08	活動報告（1年目7グループ）
13:54	休憩
14:00	活動報告②（2年目5グループ）
14:37	活動報告③（伴走支援4グループ）
15:04	福島県事業説明
15:14	休憩
15:24	写真撮影
15:39	移動
15:44	交流会① ポスターセッション
16:09	グループへ移動
16:12	交流会② 意見交換会（17時まで）

令和7年度 大学生と集落の協働による地域活性化事業 参加16グループ活動地域



令和7年度 「大学生と集落の協働による地域活性化事業」

各グループの活動概要

	番号	大学生グループ名	受入集落名	活動概要
1 年 目	1-1	会津大学短期大学部 成澤ゼミ	会津若松市 河東地区	高齢者サロン、収穫祭、地域の祭りに参加。 史跡や企業の見学、神楽継承者や外国人移 住者など地域に関わる若い世代へのインタ ビュー調査を行った。
	1-2	東北学院大学 丸山地区集落行事活性化プロ ジェクト	天栄村 大里丸山地区	地域内の家々を訪問しての聴き取り調査 に加え、神社や祠に納められた棟札やお札の 収集を行った。
	1-3	専修大学 商学部渡邊隆彦ゼミナール	昭和村 小野川集落	現地調査やフィールドワーク、地域行事へ の参加を通じて、住民との交流を深めながら 地域の現状把握と課題整理を行った。
	1-4	日本工業大学 学生環境推進委員会	只見町 黒谷集落	集落の方々との親交を深めるために、現地 で一軒一軒の訪問調査や情報交換会を実施 し、普請に参加し共同作業を行った。
	1-5	宮城大学 宮崎っ子	二本松市 岩代地区	現地活動で道の駅や小中学校、農家を訪問 した。地域の様子や課題について学んだこと を SNS で発信した。
	1-6	女子美術大学 JVR 同好会	西会津町 真ヶ沢集落	住民の方々への聴き取り調査や商店・カフ ェでの交流を通し、暮らしや文化の記憶を記 録し、顔の見える関係づくりを行った。
	1-7	獨協大学 地域活性化プロジェクト山都 町チーム	喜多方市 山都地区	山都新そばまつり出店の手伝い、そば打ち 体験、畜産農家やアスパラ農家の視察、現状 説明会への参加、空き家の視察など、町の文 化と課題を学んだ。
2 年 目	2-1	獨協大学 地域活性化プロジェクト長外 路チーム	田村市 長外路地区	コンポスト作製、柿渋とカブトムシ養殖事 業の実証、住民ヒアリングとイベント支援を 行い、課題の整理と SNS を通した情報発信 に取り組んだ。
	2-2	会津大学短期大学部 プロダクトデザインゼミ	いわき市 遠野地区	調査を通じて協議会の課題を整理・提案す るとともに、和紙製品の提案やテスト販売を 行い、新たな活用法を検討した。
	2-3	獨協大学 大竹ゼミ昭和村班	昭和村 松山集落	松山集落の魅力を知る人や訪問者を増や すため、個性豊かな住民の方々に焦点を当て たオリジナルマップを作成した。
	2-4	東京農業大学 国際食農科学科 食農文化政策研究室	会津坂下町 若宮地区	会津坂下町で親しまれている「ごろべえも ち」をイベント販売できるよう、アレンジし た「あげごろべえもち」を開発した。坂下初 市での販売に向けて試作・テスト販売を行 い、本番に挑んだ。
	2-5	獨協大学 地域活性化プロジェクト中谷 地区チーム	石川町 中谷地区	地域調査をもとに、イベント出展や体験型 交流、地元食材を活用した商品販売・広報活 動を地域と協働で実施した。
伴 走 支 援	3-1	東北大学 福興 youth	三春町 貝山集落	ロンドン大生とともに集落代表者が企画 した貝山アグリツアーに参加した。また、三 春中学生といたけ収穫を通じた交流や、住 民との懇談会を行った。
	3-2	東京農業大学 SATOYAMA Creators	鮫川村 真坂集落	真坂農村公園のイルミネーション制作や 草刈などの公園管理を行った。また、どんと 焼きの行事（西小屋）に参加した。
	4-1	東北学院大学 南津島民俗調査プロジェクト	浪江町 南津島地区	練習やイベント出演を経て、全国民俗芸能 大会を含む5つの舞台で田植踊りと神楽・岡 崎を披露した。
	4-2	福島大学 岩崎ゼミ	二本松市 戸沢7区	地域資源の豊かさや人びとの地域への思 いを次世代に継承するために、集落史「北戸 沢の“これまで”と“これから”」を発行した。

1-1. 会津大学短期大学部 成澤ゼミ × 会津若松市 河東地区

地域資源を活かしたまちづくりや産業振興をテーマに活動しており、住民の方々と共に、身近な地域の魅力を再発見している。



■集落の抱えている課題

歴史的資源は多いが認知度が低い。良質な米をはじめ特産品も多くあるが、食による地域活性化にはつながっていない。住民活動に関わる若者が減っていて、地域外からも人を呼び込めていない。

■今年度の活動

高齢者サロン、収穫祭、地域の祭りに参加。史跡や企業の見学、神楽継承者や外国人移住者など地域に関わる若い世代へのインタビュー調査を行った。



1-2. 東北学院大学 丸山地区集落行事活性化プロジェクト × 天栄村 大里丸山地区

東北学院大学で地域の文化について研究する民俗学を専門に学ぶ大学3年生と大学院生のグループ。

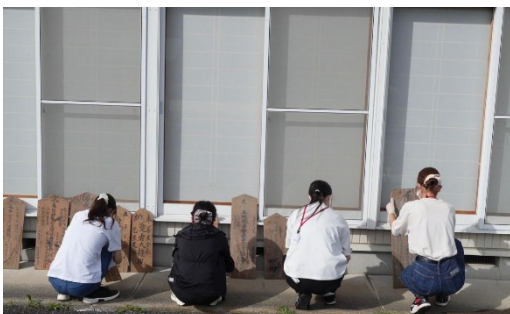


■集落の抱えている課題

集落内の神様や、それをお祀りしていたころの知識が、世代を経るにつれて忘れられていく状況にあり、「せっかくあるものを忘れたくない」という声が上がっている。

■今年度の活動

地域内の家々を訪問しての聴き取り調査に加え、神社や祠に納められた棟札やお札の収集を行った。



1-3. 専修大学商学部 渡邊隆彦ゼミナール × 昭和村 ^{おのがわ} 小野川集落

商学部生の強みを活かし、マーケティングと会計の視点から、地域の現状を分析し、課題や魅力を整理・発信している。



■集落の抱えている課題

昭和村小野川集落では、人口減少と高齢化の進行により、農作業の担い手不足や集落機能の維持が課題となっている。また、外部に向けた地域の魅力発信も十分とは言えない状況にある。

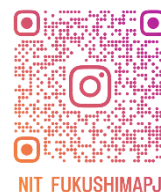
■今年度の活動

現地調査やフィールドワーク、地域行事への参加を通じて、住民との交流を深めながら地域の現状把握と課題整理を行った。



1-4. 日本工業大学 学生環境推進委員会 × 只見町 ^{くろたに} 黒谷集落

学生環境推進委員会は、SDGs や環境活動、ボランティア活動などを行っている委員会である。構成メンバー約 75 名のうち、6 名の学生が参加している。



■集落の抱えている課題

人口減少に伴い、集落活動が低下している。近年、熊や猿が人里近くまで出るようになり、水田などに実害が出ている。おんべ（歳の神）等、集落での行事の再編化も始まりつつある。

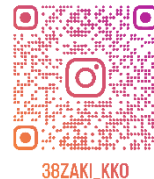
■今年度の活動

集落の方々との親交を深めるために、現地で一軒一軒の訪問調査や情報交換会を実施し、普請に参加し共同作業を行った。



1-5. 宮城大学 ^{みやさき}宮崎っ子 × 二本松市 ^{いわしろ}岩代地区

宮城大学地域創生学類の宮崎研究室の3年生で構成。地域課題の解決や地域活性化、商店街の復興について学びを深めてきた。



■集落の抱えている課題

人口減少と少子高齢化が進行し、限界集落となっている。以前は共同で凍み餅作りや花植えをしていたが、高齢化とコロナの影響で新たな取り組みもなくなった。このまま地域の活力が失われていくことは避けたい。

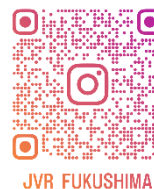
■今年度の活動

現地活動で道の駅や小中学校、農家を訪問した。地域の様子や課題について学んだことをSNSで発信した。



1-6. 女子美術大学 JVR × 西会津町 ^{まかざわ}真ヶ沢集落

記録と表現を通して真ヶ沢集落の暮らしの価値を可視化する、女子美生中心の同好会。



■集落の抱えている課題

真ヶ沢集落は人口減少と高齢化が進み、担い手不足や空き家の増加が顕著となっている。そのため、今ある暮らしの知恵や生活文化、住民の記憶といった無形の資源が、記録されないまま失われつつあることが課題である。

■今年度の活動

住民の方々への聴き取り調査や商店・カフェでの交流を通し、暮らしや文化の記憶を記録し、顔の見える関係づくりを行った。



1-7. 獨協大学 地域活性化プロジェクト山都町チーム × 喜多方市 山都地区

2025 年度に発足。福島出身の学生、旅が好きな学生、政治や行政に関心を持つ学生などが集まり、地域活性化に取り組んでいる。



■集落の抱えている課題

町民の高齢化率と一人暮らし世帯の多さが大きな課題。人口も減っており、暮らしを支えるための機能が、都市部と比較すると、決して十分だとは言えない。空き家問題や熊被害など、問題は大きく、そして多岐に渡る。

■今年度の活動

山都新そばまつり出店の手伝い、そば打ち体験、畜産農家やアスパラ農家の視察、現状説明会への参加、空き家の視察など、町の文化と課題を学んだ。



2-1. 獨協大学 地域活性化プロジェクト長外路チーム × 田村市 長外路地区

2024 年度に発足。田村市を好きで研究する学生、旅行が好きな学生など、学年も関心も幅広くメンバーが集まり、長外路地区で活動している。



■集落の抱えている課題

人口減少と高齢化の進行により担い手不足が深刻化し、行事の継承や地域間のつながりが希薄化しており、集落を現状のまま維持することが難しくなっている。また、「ながとろ」は埼玉県の長瀬と勘違いされることも多く、集落としての知名度の低さも課題である。

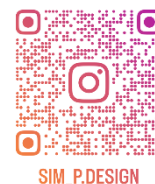
■今年度の活動

コンポスト作製、柿渋とカブトムシ養殖事業の実証、住民ヒアリングとイベント支援を行い、課題の整理と SNS を通した情報発信に取り組んだ。



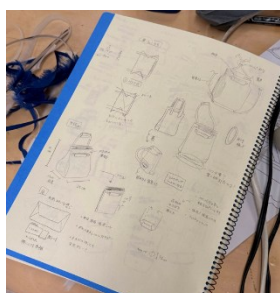
2-2. 会津大学短期大学部 プロダクトデザインゼミ × いわき市 遠野地区

プロダクトデザインを学ぶ学生 9 名で構成されたグループで、地域資源を活かした製品提案や調査活動に取り組んでいる。



■集落の抱えている課題

遠野町地域づくり振興協議会は、遠野和紙の技術継承を進めるとともに、高齢化や人手不足への対応として若手参入を促し、和紙や和紙作りの新たな活用法を模索している。



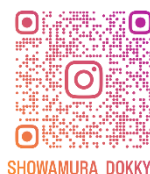
■今年度の活動

調査を通じて協議会の課題を整理・提案するとともに、和紙製品の提案やテスト販売を行い、新たな活用法を検討した。



2-3. 獨協大学 大竹ゼミ昭和村班 × 昭和村 松山集落

昭和村の魅力を見つけ出し、村をもっと元気にする方法を経済地理学の視点から考察を行っているグループ。



■集落の抱えている課題

現在、集落が抱える問題は、高齢化による地域全体の体力の衰えである。担い手不足やコミュニティの希薄化が進行しており、豊かな自然や美味しい野菜、カスミソウなどの固有な価値が将来的に失われてしまうことが懸念されている。



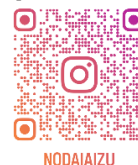
■今年度の活動

松山集落の魅力を知る人や訪問者を増やすため、個性豊かな住民の方々に焦点を当てたオリジナルマップを作成した。



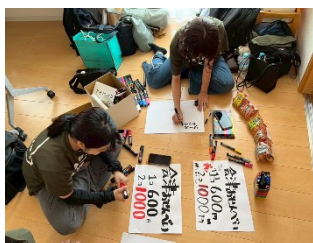
2-4. 東京農業大学 国際食農科学科 食農文化政策研究室 あいづばんげ × 会津坂下町 若宮地区

2019年より会津坂下町の米・馬肉・酒の会社と産学連携プロジェクトを行っている。若宮地区との連携により、活動の幅を広げている。



■集落の抱えている課題

地域の中心的な役割を担ってきた農家高齢化に伴い、離農者や遊休農地が増加している。そうした中で、地域のPRと活性化を目的に「ごろべえもち」を祭り等のイベントで販売してきた。しかし法改正等による衛生管理の対応から、ごろべえもちをこれまで通り販売することが難しくなっている。



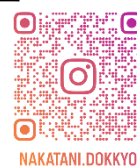
■今年度の活動

会津坂下町で親しまれている「ごろべえもち」をイベント販売できるよう、アレンジした「あげごろべえもち」を開発した。坂下初市での販売に向けて試作・テスト販売を行い、本番に挑んだ。



2-5. 獨協大学 地域活性化プロジェクト中谷地区チーム なかたに × 石川町 中谷地区

福島県出身、海外ボランティア、ふるさとワーキングホリデー、他の福島県事業などの多様な経験を活かして地域を盛り上げる。



■集落の抱えている課題

中谷地区では、高齢化と担い手不足により耕作放棄地が増加し、若者の関与や地域活動の継続が難しくなっている。地域資源は豊富である一方、活用や発信、人材循環の仕組みづくりが課題。



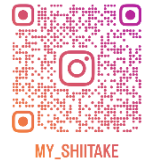
■今年度の活動

地域調査をもとに、イベント出展や体験型交流、地元食材を活用した商品販売・広報活動を地域と協働で実施した。



3-1. 東北大学 ふっこうユース 福興youth × 三春町 貝山集落

ボランティアサークル「東北大学福興 youth」のメンバーを中心に、指導教員や現地住民の協力のもとで事業に取り組んでいる。



■集落の抱えている課題

農林業を基幹産業とする集落であり、震災・原発事故の大きな影響を受けた。さらに、農業従事者の高齢化や減少も進行している。こうした複合的な要因により、離農者や耕作放棄地の増加が問題となっている。

■今年度の活動

ロンドン大生とともに集落代表者が企画した貝山アグリツアーに参加した。また、三春中学生としいたけ収穫を通じた交流や、住民との懇談会を行った。



3-2. 東京農業大学 SATOYAMA Creators × 鮫川村 まざか 真坂集落

学部生の参加が多く、受け入れ集落との交流が盛んで、里山の文化や自然を学ぶことを目的としているグループ。



SATOYAMA_CREATORS_23

■集落の抱えている課題

地区の産業として盛んである農業の衰退だけでなく、人口減少による行事の存続、地区の交流につながる公園の利用減少が課題。公園、集落行事の管理、運営が難しくなっている。

■今年度の活動

真坂農村公園のイルミネーション制作や草刈などの公園管理を行った。また、どんと焼きの行事（酉小屋）に参加した。



4-1. 東北学院大学 南津島民俗調査プロジェクト × 浪江町 南津島地区

民俗学の授業の一環として、保存会の皆様の指導の下で南津島の田植踊りと神楽・岡崎の継承に取り組んでいる。



■集落の抱えている課題

原発事故によって帰還困難区域に指定され、住民が県内外に継続的な避難を強いられた。それとともに高齢化が進み、田植踊りや神楽・岡崎などの様々な芸能の継承が困難となっているのが現状。

■今年度の活動

練習やイベント出演を経て、全国民俗芸能大会を含む 5 つの舞台で田植踊りと神楽・岡崎を披露した。



4-2. 福島大学 岩崎ゼミ × 二本松市 戸沢7区

令和4年度から二本松市北戸沢保全会と連携して、屋敷道を活用したフットパス整備や集落史の作成に向けた聞き取り調査等の活動を行った。



■集落の抱えている課題

二本松市東和地域の中山間地にある戸沢地区では、耕作放棄地や里山荒廃が課題となっている。その管理を担う北戸沢保全会は高齢者中心で担い手不足が深刻化している。

■今年度の活動

地域資源の豊かさや人びとの地域への思いを次世代に継承するために、集落史「北戸沢の“これまで”と“これから”」を発行した。



令和 7 年度
「大学生と集落の協働による地域活性化事業」

福島県 企画調整部 地域振興課
〒960-8670 福島県福島市杉妻町 2 番 16 号

